

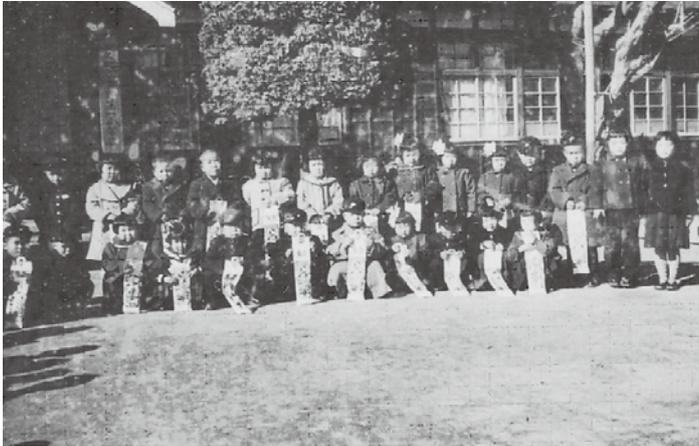
伝えたい 残したい

# 20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

## ひもと 合同紐解き式

昭和30(1955)年撮影



昭和30年に奥野第一小学校で撮影された写真です。撮影当時、地区ごとに合同紐解き式が学校で行われ、子どもたちには千歳飴が配られていました。

ヒモトキ(地域によつてはオビトキともいう)は、子どもが7歳になったことを祝って11月15日前後に行われる、いわゆる七五三のお祝いである。このお祝いは、近くの神社や氏神様に参拝することで、社会にその子が7歳になったことを認めてもらう儀式ですが、同時に子どものお披露目として、親戚・隣近所を招待して盛大に祝宴を行う家もあります。



明治・大正・昭和の「昔のうしく」の写真を募集しています。

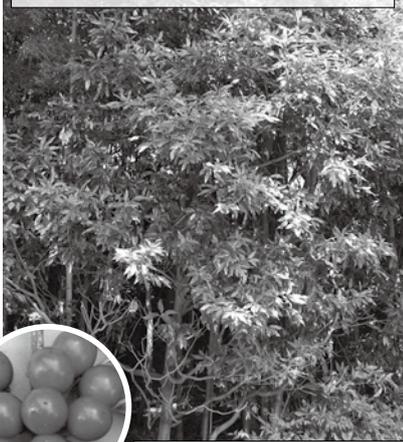
## 里山の樹木

問 都市計画課  
☎内線2524

シロダモの樹形：新地町の斜面林  
平成24年10月26日撮影

第23回

### シロダモ



果実：平成16年11月16日撮影

本州〜琉球に分布し、全域に自生するクスノキ科の高さ10〜15mの常緑広葉樹で、市内では斜面林などで見られます。樹皮は灰黒色で小枝は緑色。葉は互生し長さ8〜18cmの長楕円形、深緑色で光沢があり、3本の葉

脈が目立ちます。表面は緑色ですが裏面は灰白色で、黄褐色の絹毛に被われた若葉が垂れ下がる姿は見事です。雌雄異株。晩秋にクリーム色の花を咲かせます。雌花は翌年秋に楕円球形の長さ12〜15mmの果実を赤く熟し、花と果実が同時に見られる不思議な樹です。名前の由来は、タブの木に似て葉の裏が灰白色なので「白いタブ」から変化したという説があります。

※牛久の里山樹木ハンドブック63ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森 ☎874・6600まで。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章：小松友枝、写真：樹形戸塚昌宏・(果実)渡辺泰)

## 文芸さろん | 霜月 |

秋簾上げれば空気眩しかり  
秋すだれ妖しき源氏の影法師  
Jアラートちんちんちんと鉦叩  
為になる広報うしくたのしみだ  
いち面の白いさざなみそばの花  
ほととぎすあるじの帰りを待ちわびて  
隣家の垣根に揺れながら  
明日の夜は晴るるを願ひ庭の尾花  
切りて久しき友に届けぬ

匿名希望  
きみさん  
山崎さん  
あおたん  
一 涼

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など  
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1  
「広報うしく文芸さろん」係 FAX：873-2512  
E-mail：kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp  
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)